

## 大会宣言

来年度より新・保育所保育指針のもとでの保育が始まります。その指針には『子育て支援』が章立てされ、ますます保育や子育て支援に対する期待が高まっています。

一方で保育所や地域が子育て支援を担って三十年近く経つにも関わらず、児童虐待や子どもの貧困など、社会的養護を必要とする家庭や気になる子どもは増え続けています。私たちは、この現状を憂い4年前に全国組織を立ち上げました。そして毎年の研究大会では「保護者支援・親支援」以上に「子どもの育ち・子育て支援」に焦点をあてた研修を重ねてきました。

本研究大会では、日常保育の何気ない業務の中に「子育て支援の芽」があり、保育士や保護者にどう意識化、言語化できるのかを探りました。また保育所や子育て支援拠点が核となって地域を紡ぐ「保育コミュニティ」の邑づくりに新しい「子育て支援」の展開の可能性を見だし、合わせて昨年四月の熊本・大分地震の教訓から保育・子育て支援の活動中での災害対策も学びました。

会場となった下関市民会館では、初の試みとして「子育て屋台村」が開店、山口県発・全国発のもりだくさんの子育て支援情報のお土産ができ、さらに会場のそこあそこで姉妹園・兄弟センターづくりの会話が弾むなど、とても有意義な大会になったと確信致します。

私たちは、ここ歴史回天の地・山口において二日間にわたり学んだ子ども・子育て支援のあり方を明日からの活動に活かしていくことを誓い大会宣言とします。

平成二十九年十月二十七日